倭物やカヤ 金沢ひがし茶屋街店に「加賀棒茶の足湯」が登場！歴史ある古民家で楽しむ足湯カフェが11月13日オープン

約200年の古民家を受け継ぎ、未来へ残したい景色をつなぐ。金沢の歴史と文化を五感で楽しむ新たな体験を提案



株式会社アミナコレクション（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：進藤さわと）が展開する、和雑貨ブランド「倭物やカヤ（わものやかや）」は、2026年11月13日（金）、金沢を代表する観光名所「ひがし茶屋街」へ続くエリアに加賀棒茶の足湯カフェをオープンします。足湯カフェは、「倭物やカヤ 金沢ひがし茶屋街店」に併設されます。約200年の古民家をリノベーションした店舗で、加賀棒茶の茶葉を使った足湯を楽しめるほか、丸八製茶場の「献上加賀棒茶」や、加賀棒茶・抹茶などを使ったスイーツを提供します。

加賀棒茶の香りに包まれる「加賀棒茶の足湯」

加賀藩前田家が茶の湯を重んじた金沢では、今も茶道文化が暮らしに息づいています。足湯カフェでは、この地で親しまれてきた「加賀棒茶」を、飲むだけでなく「香る」「浸かる」体験へと広げます。足湯に茶葉を使い、店内にも芳ばしい香りを広げることで、空間全体で加賀棒茶を五感で楽しめる体験を目指します。







古民家の趣を感じながら、ゆったり過ごす「だんだん足湯」

段差状に設けられた「だんだん足湯」は、腰掛けながらゆったり足湯を楽しめる空間です。金沢の街歩きの合間に、加賀棒茶の香りに包まれ、カフェメニューとともにひと息つけます。木組みの天井や梁、大胆に配置された和箪笥など、かつての暮らしを感じさせる意匠が残る店内で、金沢の歴史や文化に触れるひとときをお過ごしください。





足湯と一緒に味わう、金沢らしいカフェメニュー

足湯カフェでは、「献上加賀棒茶」や抹茶、竹炭珈琲などのドリンクと、加賀棒茶や抹茶を使ったスイーツを提供。「どら焼き × 竹炭珈琲」「焼きドーナツ × 献上加賀棒茶」のセットで、足湯とともに金沢らしい味わいを楽しめます。



米粉のどら焼き加賀棒茶

米粉の焼きドーナツ抹茶

約200年の古民家を、未来へつなぐ

「倭物やカヤ 金沢ひがし茶屋街店」は、築約200年の古民家をリノベーションした店舗です。江戸末期から「供田書店」として商いを続けてきた建物を活用し、加賀百万石の歴史が息づく金沢の街並みと共に、街に残る歴史ある景観を未来へつなぎます。金沢は戦災を免れたことで、町家をはじめとする歴史的な街並みが現在も残る街。その一角に残る古民家を活用し、倭物やカヤが新たな商いの場として息を吹き込みます。





「未来に残したい景色」を、次の世代へ

倭物やカヤは、古くから残る建物や街の景色を未来へつなぎたいという想いから、「金沢ひがし茶屋街店」で古民家を活用し、歴史ある建物の趣を生かした店づくりを行っています。九谷焼メーカーの倉庫で見つかった手描きタイルを、足湯カフェへ続く階段横の壁に再利用し、伝統工芸に新たな役割を与えました。店内では和雑貨や和洋服も展開し、足湯やカフェの後に旅の思い出となる一品を探す楽しみも提案します。





金沢の街歩きに、新たなひと休みを

ひがし茶屋街を訪れる人をはじめ、金沢を旅する国内外の旅行者が、街歩きの途中に立ち寄り、足湯やお茶、スイーツを楽しみながら、ほっとひと息つける場所を目指します。加賀棒茶の香りに包まれながら足湯に浸かり、お茶やスイーツを味わう。店内に並ぶ和雑貨や和洋服との出会いも楽しみながら、金沢の街歩きに、心安らぐひとときを添えます。

◎店舗名： KAYA Cafe加賀棒茶足湯　◎オープン日： 2026年11月13日（金）
◎住所：〒920-0831石川県金沢市東山3-2-19倭物やカヤ金沢店2階
◎アクセス： 金沢駅からバスで約10分、「ひがし茶屋街」下車
◎営業時間： 倭物やカヤ 金沢ひがし茶屋街店：10:00～18:00 ※足湯営業時間：11:00～17:30（ラストオーダー17:00）
◎利用料金： 2,200円（税込）※喫茶メニュー、足湯利用、手ぬぐい、水みくじ代を含みます。
◎足湯のご利用について・喫茶メニューの提供後、30分間ご利用いただけます。・予約不可、来店順でのご案内となります。ご来店後、順番待ちシステムにてご案内します。

メディア内覧会について

オープン後、メディア関係者向けの内覧会を開催する予定です。開催概要・日程につきましては、お問い合わせいただいた方へ順次ご案内いたします。内覧会への参加をご希望の方、取材のご依頼は、こちらのお問い合わせフォームよりご連絡ください。https://bit.ly/4e1KyiU





株式会社アミナコレクションのプレスリリース一覧
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/6166